

《平成30年度 都市計画部 組織目標》

◆目標管理者

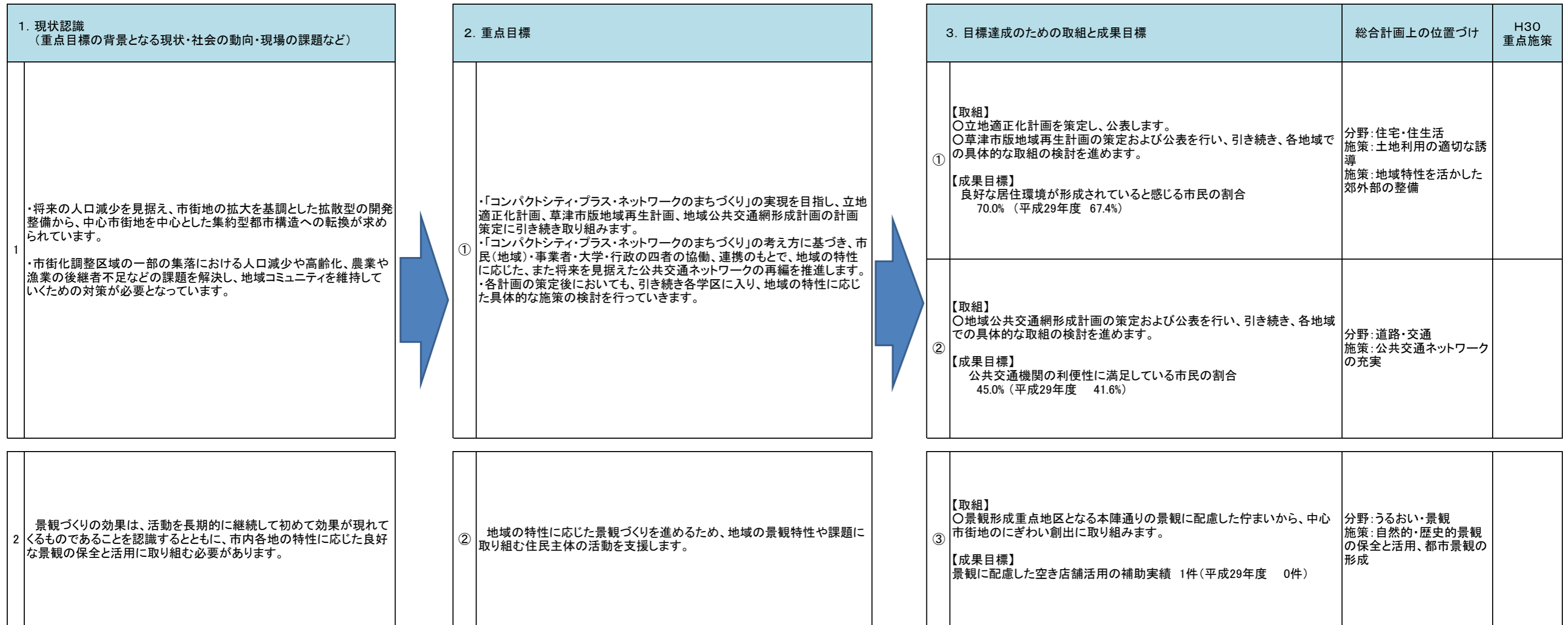
部長	山本 憲一
理事	六郷 昌記
理事	東 隆司

◆部局の役割・目標像

<p>『心地よさ』が感じられるまちづくりの推進のために</p> <p>◆人口減少社会、超高齢社会の到来を見据えて、安心して暮らせる居住環境や充実した都市機能を確保し、中心部と地域を結ぶ公共交通ネットワークの充実や地域特性を活かしたまちづくりを進め、市域全体が活気と活力にあふれた均衡あるまちづくりの実現を目指します。また、良好な景観の保全・活用、創出につながる、ふるさと草津の心を育む景観づくりに取り組みます。</p> <p>◆“元気”と“うるおい”のある生活交流都市の創造を基本理念とし、中心市街地の活性化に取り組み、住みやすく魅力的な都市への再生に取り組みます。</p> <p>◆市民生活に必要な交通の確保や交通負荷の軽減、集約型都市構造の実現を目指し、公共交通の充実や交通ネットワークの向上、自転車施策等に取り組みます。</p> <p>◆良好な環境の確保と調和のとれた土地利用および秩序ある都市の形成を図るため、開発事業への適切な指導を行います。</p> <p>◆災害に強いまちづくりを目指し、旧耐震構造の住宅の耐震化に取り組みとともに、緊急時や震災発生時の避難経路の確保ができるよう、狭あい道路の整備に取り組みます。</p>
--

◆職員数および当初予算規模

所属	職員数(人)						当初予算規模(千円)		
	正規	特任	再任用	嘱託	臨時	合計	歳出 (職員費を除く)	特定財源	一般財源
経営層(部長、副部長)	4	0	0	0	0	4	—	—	—
都市計画課	8	0	2	0	2	12	32,724	7,755	24,969
都市再生課	9	1	1	0	2	13	1,488,140	1,452,243	35,897
交通政策課	5	0	0	7	1	13	272,794	167,068	105,726
開発調整課	5	0	1	1	0	7	7,052	4,811	2,241
建築課	16	0	0	0	3	19	79,379	67,327	12,052
合計	47	1	4	8	8	68	1,880,089	1,699,204	180,885



1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	
3	全国的に公共公益施設の郊外移転等都市機能の拡散、モータリゼーションの進展、流通構造の変化等による大規模集客施設の郊外立地、居住人口の減少等中心市街地のコミュニティとしての魅力低下、中心市街地の商業地区が顧客・住民ニーズに十分対応できていないことなどにより、中心市街地の衰退が進みつつあったことから、中心市街地活性化基本計画を策定し、中心市街地の活性化に向けた事業の展開を図っています。



2. 重点目標	
③	本市の社会、経済、文化の拠点である中心市街地について、商業の活性化、草津川跡地公園の活用や新たな交流拠点の創造による都市魅力の向上、歴史的まちなみ・資源の保存・活用、コミュニティの再構築、駅前市街地の高度利用と都市機能の更新等により、子どもや高齢者を含めた多くの人にとって暮らしやすい、歩いて暮らせる、にぎわいあふれるまちづくりを進めます。 また、中心市街地の活性化を継続して推進していくため、平成31年4月を始期とする第2期の中心市街地活性化基本計画を策定します。



3. 目標達成のための取組と成果目標		総合計画上の位置づけ	H30 重点施策
④	<p>【取組】 ○中心市街地活性化事業を推進します。 ニワタスや草津川跡地公園de愛ひろば等の中心市街地活性化拠点を活用したイベント等の取り組みや空き店舗等を活用した魅力的な店舗整備を進めます。また、草津まちづくり株式会社への運営支援を継続して実施し、にぎわいと魅力あるまちなかを創造するための事業を推進します。 (事業費) ・中心市街地公共空間賑わい創出委託 6,058千円 ・魅力店舗誘致事業費補助金 4,000千円 ・草津まちづくり株式会社への運営支援補助金 7,500千円 ○第2期草津市中心市街地活性化基本計画を策定します。 平成31年4月を始期とする、第2期計画の策定を進めます。 (事業費) ・計画策定委託費 2,502千円</p> <p>【成果目標】 中心市街地に魅力があると感じる市民の割合 35.0% (平成29年度:34.8%) 【参考】総合計画H30指標:34.0%</p>	【リーディングプロジェクト】 分野:商工観光 施策:中心市街地のにぎわいの創出	
⑤	<p>【取組】 ○北中西・栄町地区市街地再開発事業を推進します。 (事業費) ・組合への調査設計計画費、共同施設整備費補助金 1,224,638千円 ・組合への共同施設整備費補助金 869,016千円 (H29明許繰越予算) ○(仮称)市民総合交流センターの整備事業を推進します。(事業費 280千円)</p> <p>【成果目標】 まちなかに魅力があると感じる市民の割合 35.0% (平成29年度:34.7%) 【参考】総合計画H30指標:32.0%</p>	【リーディングプロジェクト】 分野:住宅・住生活 施策:市街地の整備	重点⑥-2 (リーディング) まちなか魅力向上

4	沿道利便施設の立地や人口増加局面による都市機能の分散化、モータリゼーションの進展等により、交通渋滞の慢性化や公共交通機関の脆弱化等の問題を招いており、円滑な移動を確保する必要があります。
---	---

④	平成26年に策定した「草津市総合交通戦略」における進捗管理を行うとともに、自家用車に過度に頼らない意識を育み、健幸で明るい未来を構築するためには、公共交通網の形成による活性化だけでなく、子どもや高齢者などの安全確保や自転車の安全で安心な利用の促進を図ります。
---	---

⑥	<p>【取組】 ○総合交通戦略における進捗管理を行い、円滑な交通の確保に取り組みます。</p> <p>【成果目標】 公共交通機関の利便性に満足している市民の割合 45.0% (平成29年度 41.6%)</p> <p>【取組】 ○交通安全教育に関する機会の提供や、関係機関と連携した啓発等を行うことにより、地域ぐるみの交通安全対策を推進するとともに、交通安全の周知徹底を推進し、交通事故負傷者数の減少を図ります。</p> <p>【成果目標】 年間の交通事故負傷者数 520人以下 (平成29年度 594人)</p>	分野:道路・交通 施策:歩道・自転車道等の整備	
---	---	----------------------------	--